

特集 まちの賑わいを再び

Interview ハッピー商店街 代表



ハッピー商店街
代表 鷺田 政憲さん

ハッピー商店街の設立当初からお店を構え、長年まちの賑わい創出に貢献。

市内外の多くの方が楽しめる場所へ

近年、新規の出店が続いていることで、少しずつ賑わいが戻り、とても嬉しく思っています。

特に、飲食店は、市内の方の楽しみが増えることはもちろん、観光客を街中へ導く大きな要素の一つになると思います。

ハッピー商店街が多くの飲食店が集まる受け皿となり、市内外の多くの方が勝山を楽しむ拠点の一つになったらと考えています。

これから起業を考えている方はぜひご検討ください。一緒に賑わいを創っていきましょう。



長山町交差点から沢町交差点につづく道の間に、かつて子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層に親しまれた場所「ハッピー商店街」があります。
現在の店舗数は、最盛期と比べ半分近くになってしまったハッピー商店街ですが、近年、新規に出店する方が増え、賑わいが戻りつつあります。
今月の特集では、商店街の方や今年度新たに新店した方々に話を伺いながら、ハッピーの変化から見えてくる、まちの賑わいについて考えます。

Interview ハッピー商店街で新規出店①

昨年7月にイタリアン料理のお店をオープンされた義野さん。
融雪付きの駐車場があり、市内外の方がアクセスしやすい良い立地だったことから、出店を決めたそうです。
経営を始めて半年が経つ中、食事をされた方が、商店街の中を見て寂しそうにされる姿を目にするのがあることで、「自分たちの出店を機に、新規出店が増えるといいです」と期待をしながらも、義野さん自身も、現在の店舗の隣にある空きスペースを新たに活用することを計画され、更なる賑



BISTRO gino
代表 義野 寛さん

これまで福井市でイタリアン・バーを経営。現在は、勝山産の食材などを使った本格的なイタリアン料理を提供。

ハッピー商店街をもっと魅力的な場所に

わいが生まれそうです。
また、とても気さくな人柄の義野さんは「ミシュランガイドに選ばれたら、ハッピー商店街も地域も面白くなりそうですよね」と地元食事も活かす自慢の料理を通して、地域がもっと魅力的な場所になればと楽しそうに意気込みを話していました。



落ち着いた雰囲気の店内

新たな風が吹く拠点で まちの賑わいを再び

ハッピー商店街の前を通る方は、ふと雰囲気が変わったと気づかれているのではないのでしょうか。

昨年の夏、商店街の方々が「勝山市まちなか賑わい創出事業」を活用し、恐竜を用いた新しい看板を設置しました。



恐竜がお出迎えをする新しい看板

「近年、新しいお店の出店が増えてきたので、ハッピー商店街の雰囲気を新しくしたい」と思い、傷みが目立ってきた看板を新しくしました」と話すのは、ハッピー商店街代表の鷺田さん。お店の数が減り、自身のお店もどうなるか不安がありながらも「無くすことは簡単にな

きるが、この場所がなくなると地域が寂しくなる。少しでも地域に賑わいが出てほしい」と、前向きに考え、商店街の方と一緒に活動されています。
ハッピー商店街は、昭和60年に、松文産業㈱の工場があった場所に「市民市場フレッシュタウンハッピー」という名称で設立されました。当時は、スーパーや飲食店のほか、本屋、衣料品店、おもちゃ屋など25店舗以上が並び、多くの方が買い物を楽しみ、夜市も開催されるとも賑やかな場所だったそうです。

30年以上の時が流れる中、目立つようになった空き店舗ですが、近年は、飲食店や福祉支援事業所など新たに空き店舗を活用する方が増えています。
今回は、今年度「勝山市商業施設出店促進事業」を活用し出店した飲食店2店舗の方々に話を伺いました。